

179
2
53

大日本教育會館			
室		第	
三	一	三	〇
冊	號	架	函

287

標註漢史提要

甘肅新志

卷一

B

4

597



伊藤希元編輯

明治十五年十二月
二十七日校權免許

標註漢史提要

明治十六年三月

寸金堂藏版

合井
氏記

出同

同

同

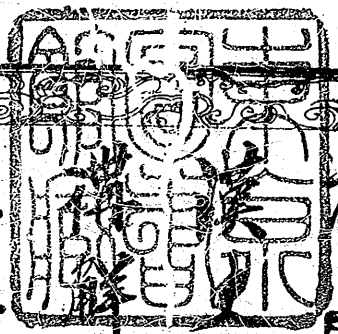
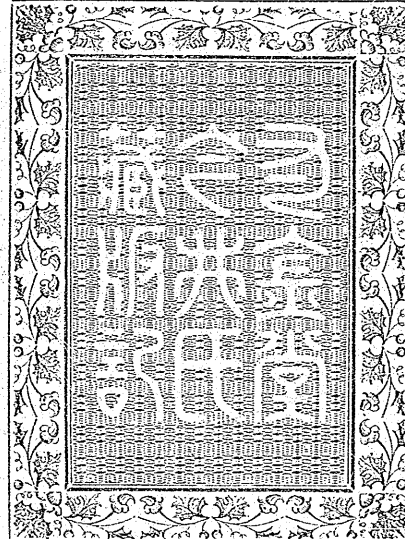
而
時
而
語
簡
而
跡
蕭

癸未春日
隨鷗小史篆

同

小史篆

十餘年



序

之綴以國字叙事而點
者最為便乎黃吻年少
矣然詞易公長又欠助字幹
莊之用且字法句法隨而不
免粗笨則左在案而右在首

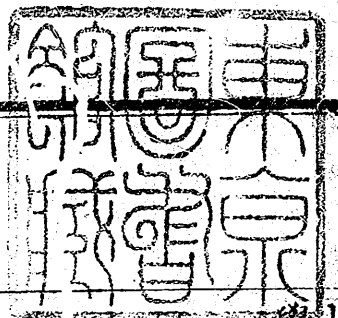
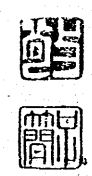
固不族辨也此書務主骨便
僅以三言提括支那數千年
事蹟之要焉蓋不過崇洋之
斥波史海之一探但授塾中
繡角之外以助吾伊耆耳匪
所以示人也一日書估寸金堂

主人閱而悅之請以上梓余
惴惴拒之主人亟持而去未
因返呼曰已矣務解明其版
面慎覈其字畫勿俾黃吻踈
於三承門王稍可是為叙
明治十五年壬午冬十二月

相模 伊东希元治善甫後



渚香侯敬書



學標註漢史提要目錄

- 卷之一 三皇ヨリ東晉ニ至ル
- 卷之二 宋ヨリ北宋ニ至ル
- 卷之三 南宋ヨリ清ニ至ル

凡例

- 正統
- 僭偽
- 外國
- 地名
- 姓名

文那帝王歷代國號系圖

方正統
圓僭偽

三皇

五帝

三代

夏

殷

周

東周

春秋諸國

魯衛晉鄭
曹蔡燕齊
陳宋楚秦
吳越

戰國

秦楚
燕田齊
韓趙

秦

秦末

楚趙齊燕
魏韓楚

漢

王莽篡國

東漢

三國

蜀魏吳
即後漢

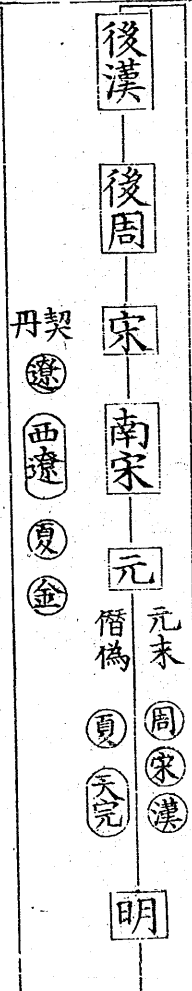
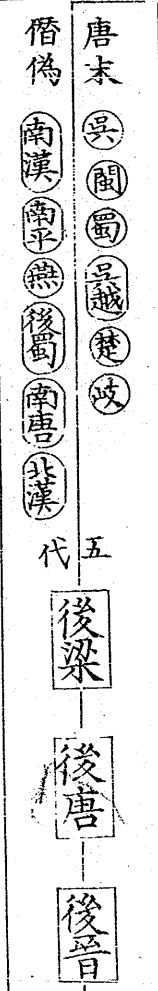
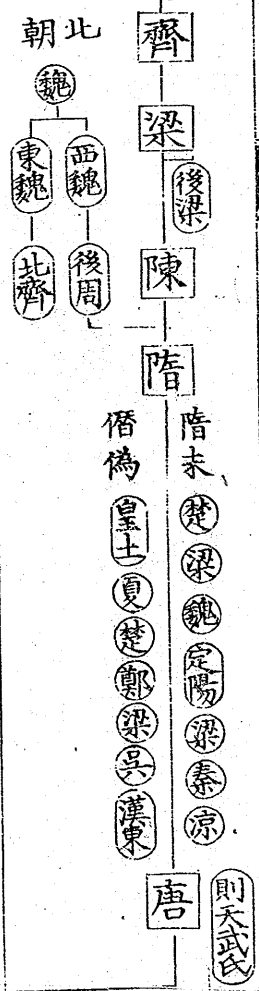
晉

東晉

晉末

漢趙涼燕
秦後燕後秦西秦
後凉南凉
西燕南凉北凉南燕
西凉朝

宋



清

學標註漢史提要卷之一

相模 伊東希元 編輯

三皇

○伏羲 八卦乾坤巽艮震離坎兌ナリ 書契古ヘ木ヲ 刺ニ事ヲ記セシナリ 結繩ヲ結ヒテ事ヲ記セシナリ

○神農 耒耜鋤鋤如 耒耜具ナリ 廬市ニセマナ

○黃帝 炎帝神農氏姜姓耒耜ヲ爲リ稼穡ヲ教ヘ醫藥ヲ製ス又廬市ヲ爲シテ交易シ以テ有無ヲ通セシム陳及ヒ曲阜ニ都ス姜姓相承ルコト八世黃帝軒轅氏姬姓或ハ云フ公孫姓炎帝ノ末運ニ

相將宰相大將
ナリ
五音宮商角徵
羽ナリ 六律
陽南六陰南六
合テ十二箇音
樂ニ用ユ

方リ帝干戈ヲ用キルヲ習ヒ諸侯ヲ征服シ蚩尤
ヲ禽ニシ終ニ炎帝ニ代ル相將ノ設ケ文字ノ制
天文曆算五音六律及ヒ宮室衣裳舟楫養蚕皆此
時ヨリ起ル又貨幣ヲ作ル

五帝

○少昊

少昊金天氏姓ハ巳名ハ摯黃帝ノ子ナリ

○顓頊

顓頊高陽氏姬姓黃帝ノ孫ナリ曆象ヲ改作シ建

建寅月歲星ト
ラノ方位ニヲ
ガス月ナリ

寅月ヲ曆元トス又木火土金水ノ五官ヲ命ス

○帝嚳

帝嚳高辛氏名ハ契少昊ノ子黃帝ノ曾孫ナリ其

郁々盛ナ良
歲々高ナ良

色郁郁其德嶷嶷タリ

○帝堯

帝堯陶唐氏姓ハ伊祈名ハ放勳帝嚳ノ子ナリ平

九年ノ洪水

陽ニ都ス閏法ヲ置キ四時ヲ定メ民ニ時ヲ授ク
帝立テ七十年九年ノ洪水アリ鯀ニ命シテ治メ

シム績ナシ帝ノ子丹朱不肖ナリ乃チ舜ヲ登庸

シ先コレヲ試ルニ事ヲ以テシ以テ其才德ヲ觀

ル遂ニ天下ノ事ヲ攝行セシム終ニ舜ニ天下ヲ

讓ル帝ノ君タル其仁天ノ如ク其智神ノ如ク富

節茨茅ヲ以テ
屋ヲ葺クナリ

テ驕ラス貴フシテ舒ヒス節茨剪ラス土階三等

ニ過キス億兆至治ニ沐浴シ識ラス知ラス帝ノ

則ニ順ス

○帝舜

一女娥黃女英
璿璣玉衡三ナ
天文ヲ窺フ器
ナリ七政日月
火水木金土ノ
星ノ運行ナリ
百揆百官ナリ
五教即チ五倫
五刑墨劓剕宮
大辟ナリ

帝舜有虞氏姓ハ姚名ハ重華瞽瞍ノ子顓頊六世ノ孫ナリ父後妻ニ惑ヒ少子象ヲ愛シ常ニ帝ヲ殺サント欲ス帝孝悌ノ道ヲ盡シテメメテ姦ニ格ラス堯之カ聰明ヲ聞キ帝ニ女ハスニ二女ヲ以テシ遂ニ相トナス璿璣玉衡以テ七政ヲ齊ヘ禹ヲ司空トナシテ百揆ヲ宅キ棄ヲ后稷トナシテ稼穡ヲ教ヘ契ヲ司徒トナシテ五穀ヲ敷キ皋陶ヲ士トナシテ五刑ヲ理メ垂ヲ共工トナシテ百工ヲ治メ益ヲ虞トナシテ山澤ヲ掌ラシメ伯夷ヲ秩宗トナシ百神ヲ叙セシメ后夔ヲ典樂ト

四凶凶惡ノ者
四人ナリ八元
元善ノ者八人
ナリ六凱凱樂
スベキノ君子
八人ナリ

ナシ龍ヲ納言トナス又四凶ヲ竄シ八元八凱ヲ舉ク天下悉ク帝ノ德ヲ戴ク子商均不肖ナリ位ヲ禹ニ讓ル南巡シ蒼梧ノ野ニ崩ス

夏

○大禹

九州冀兗青徐
揚荆豫梁雍州
ナリ

九牧九州ノ牧
長ナリ

大禹姓ハ似名ハ文命鯀ノ子ナリ安邑ニ都ス載ヲ改テ歲ト曰フ舜ノ時鯀ニ代リ洪水ヲ治ム九州ヲ開キ九州ノ道ヲ通シ九州ノ澤ニ陂シ九州ノ山ヲ度ル巡狩シテ諸侯ヲ塗山ニ會ス玉帛ヲ執ル者萬國九牧ノ金ヲ收メテ九鼎ヲ鑄ル江南ニ巡狩シ會稽山ニ至リテ崩ス帝ノ時儀狄酒ヲ

作ル帝曰ク後世必ス酒ヲ以テ國ヲ亡ス者アラ
ント、

○帝啓

帝啓禹ノ子ナリ、諸侯奉シテ天子ノ位ヲ踐マシ
ム、有扈氏無道ナリ、大ニ甘ニ戰ヒ、之ヲ滅ス、帝賢
明ニシテ、能ク禹ノ道ヲ承繼ス、

○太康

太康啓ノ子ナリ、帝洛水ノ表ニ畋獵シテ、盤遊度
ナシ、有窮ノ后羿河ニ距キテ仲康ヲ立ツ、太康既
ニ國ヲ失ヒ、陽夏ニ殂ス、

○仲康

仲康太康ノ弟ナリ、而シテ羿其政ヲ專ニス、

○帝相

帝相仲康ノ子ナリ、都ヲ商丘ニ徙ス、羿帝ヲ逐テ

○少康

一成十里ノ地
一旅五百人

自立ス、其嬖臣寒浞又羿ヲ殺シテ之ニ代ル、帝ノ
子少康舊臣ニ因リ、浞ヲ誅シテ禹ノ績ニ復ス、
少康相ノ子ナリ、初相ノ后ハ有仍國君ノ女ナリ、
娠メルニ方リ、逃レテ有仍ニ歸ル、少康ヲ生ム、一
成ノ田一旅ノ衆ヲ以テ、終ニ舊都ニ還ル、中興ヲ
言フ者、帝ヨリ始ム、帝杼帝槐帝芒帝泄帝不降帝

局帝厘帝孔甲帝皐帝發ヲ歷テ桀癸ニ至ル、

○桀癸
桀ノ淫虐

桀癸帝發ノ子ナリ、號シテ桀トナス、貪虐暴狠ナ
リ、力能ク鉤ヲ申ヘ鐵ヲ索ニス、嘗テ有施氏ヲ伐
ツ、有施氏女妹喜ヲ進ム、桀之ヲ嬖ス、瓊室象廊瑤

臺玉牀ヲ爲ル、又肉山脯林、酒池糟堤、以テ淫劇ヲナス、國內怨叛シ、民心土崩ス。湯夏ヲ伐ツ、桀鳴條ニ走リテ死ス。初、桀ノ後、姓ヲ姫ト別ツ、公劉ニ至リ、復后稷ノ業ヲ脩メ、民其慶ニ頼ル。周ノ興ル、此ニ基ス。○夏十七主、四百三十九年ナリ。

殷

○成湯

成湯姓ハ子、名ハ履、帝嚳ノ後ナリ。亳ニ都ス。歲ヲ改テ祀ト曰フ。國ヲ商ト號ス。初、伊尹有莘ノ野ニ耕ス。湯之ヲ聘シ、夏桀ニ進ム。尹諫レトモ聽カス。遂ニ湯ニ歸ス。湯以テ相トナス。時ニ大旱七年ス。

大旱七年

六事政事ヲ

湯乃素車白馬ニシテ、自ラ桑林ノ野ニ禱リ、六事ヲ以テ自ラ責ム。言未已サルニ、大雨數千里、天下

失フカ宮室崇キカ、女謁威ナルカ、苞直行ハルカ、讒夫昌ナルカ

謹洽ス。遂ニ桑林ノ樂ヲ作り、名テ大濩ト曰フ。子

太丁先ツ卒ス。太丁ノ子ヲ太甲ト曰フ。世嫡孫タ

リ、湯崩シテ、伊尹之ヲ奉シテ位ニ即カシム。

○太甲

太甲太丁ノ子ナリ。太甲厥德ヲ明ニセス。湯ノ典

刑ヲ顛覆ス。伊尹之ヲ桐宮ニ放チ、乃自政ヲ攝シ

國ニ當ル。三年ニシテ、太甲自怨ミ自艾メ、仁ニ處

リ、義ニ遷ル。伊尹奉シテ亳ニ歸ヘン。諸侯咸ク歸

ス。沃丁大庚小甲雍巳ヲ歷テ、商道衰フ。

○太戊

太戊雍巳ノ弟ナリ、伊陟臣扈相トナリ、大ニ成湯ノ政ヲ脩メ、商道復興ル、庶ヲ中宗ト號ス、

○仲丁

仲丁太戊ノ子ナリ、都ヲ囂ニ遷ス、外壬河亶甲ヲ歷テ、都ヲ相ニ徙ス、商道震衰フ、祖乙相ニ圮ラレ、都ヲ耿ニ徙ス、又耿ニ圮ラレ、刑ニ徙ル、巫咸相トナリ、商道復興ル、祖辛沃甲祖丁南庚陽甲ニ至リ、商道復衰フ、

○盤庚

盤庚陽甲ノ弟ナリ、都ヲ殷ニ遷シ、國ヲ殷ト更號ス、殷ハ毫ノ地ナリ、商道復興ル、小辛小乙ニ至リ、殷道復衰フ、

○武丁
上帝天神ナリ

西伯西方諸侯ノ長ナリ

○紂辛

武丁小乙ノ子ナリ、甘盤ヲ相トナス、又夢ム、上帝賚フニ良弼ヲ以テスト、乃旁求シテ傳說ヲ得タリ、立テ、相トナス、譯ヲ重テ來朝スル者六國殷道復興ル、庶ヲ高宗ト號ス、祖庚祖甲廩辛庚丁武乙ニ至テ無道ナリ、暴雷ノ震死スル所トナル、太丁帝乙ヲ歷テ紂辛ニ至ル、是ヨリ先西伯昌政ヲ發シ、仁ヲ施シ、天下皆往テ歸ス、子發且皆聖德アリ、コ、ニ至リ、天下ヲ三分ニシテ、其一ヲ有ツ、紂辛名ハ受號シテ紂トナス、帝乙ノ子ナリ、資辨捷疾、諫ヲ拒キ、非ヲ飾リ、天下ニ高フルニ聲ヲ以

學林言海見抄

紂ノ淫虐

炮烙ノ刑銅柱ニ膏ヲ塗リ人ヲシテ之ニ緣ラシム足スベリテ火中ニ墜ク醢シ、ビシホ哺ヒモハ

テス、嘗テ有蘇氏ヲ伐ツ有蘇氏女ハスニ妲己ヲ以テス、之ヲ絶寵ス、其言ニ是レ從フ、乃鹿臺ヲ起ス、瓊室玉門、七年ニシテ成ル、賦歛ヲ厚クシ、鹿臺ノ財ヲ實テ、鉅橋ノ粟ヲ盈ツ、淫戲甚シ、酒池肉林ヲ爲リ、男女僕レテ其間ニ相追フニ至ル、百姓顛怨シ、諸侯叛ク、乃重ク刑辟ヲ爲リ、以テ威ヲ立ント欲ス、炮烙ノ刑ヲ設ケ、妲己ト觀テ大ニ樂ム、庶兄微子極諫スレトモ、從ハス、比干諫ム、之ヲ殺ス、箕子佯狂シテ奴トナル、又九侯鄂侯ヲ醢脯ニス、西伯ヲ囚ス、既ニシテ之ヲ釋ス、周ノ武王大ニ諸

侯ヲ會シ、紂ヲ牧野ニ伐ツ、紂カ兵崩畔ス、紂鹿臺ニ登リ、珠玉ヲ衣テ、自燔テ死ス、殷亡フ、○殷二十八主、六百四十四年ナリ、

周

○武王

武王姓ハ姬、名ハ發、西伯昌ノ子、后稷十六世ノ孫ナリ、鎬ニ都ス、祀ヲ改テ年ト曰フ、父昌能ク德ヲ修メ、諸侯之ニ歸ス、皆以爲ラク、受命ノ君ナリト、嘗テ渭水ニ獵シ、呂尚ヲ得ツリ、載セテ俱ニ歸リ、以テ師トナス、呂尚ハ東海上ノ人ナリ、窮困シテ年老ユ、漁釣シテ周ニ至ル、遂ニ西伯ニ遇ス、太公

受命ノ君天命ヲ受テ興リタル君

追尊後ヨリ追
テ王號ヲ奉ル
ナリ

扣叩ヒテ去ラ
シニルナリ

建子月陽曆ノ
十二月ニアタ
ル

望ト號ス西伯卒ス後追尊シテ文王ト曰フ武王
兵ヲ孟津ニ觀ス諸侯期セスシテ會スル者八百
皆曰紂伐ツヘシト王聽カスシテ引キ還ル紂悛
メス王乃チ師ニ誓フテ紂ヲ伐ツ伯夷叔齊ハ孤
竹君ノ二子ナリ馬ヲ扣キ君臣ノ義ヲ陳シテ諫
ム左右之ニ兵セント欲ス太公曰義士ナリト扶
ケテ之ヲ去ラシム二子後首陽山ニ餓死シ周ノ
粟ヲ食ハスト云王既ニ紂ヲ滅ホシ帝位ニ即ク
國ヲ周ト號ス建子月ヲ歲首トス妣巳ヲ殺シ箕
子ヲ釋シ比干ノ墓ヲ封シ商容ノ閭ニ式ス馬ヲ

封建大名ヲ
リクテルナリ

垂拱衣裳ヲタ
レ手ヲコマヌ
キ端坐スルナ
リ

○成王

歸シ牛ヲ放チ大ニ諸侯ヲ封建シ先聖ノ後及ヒ
同姓功臣ヲ封スルコト差アリ而シテ箕子ヲ朝
鮮ニ封シテ臣トセス王聖德アリ垂拱シテ天下
治ル

文物文衆儀物
ナリ

○康王

成王名ハ誦武王ノ子ナリ時ニ王猶幼ナリ叔父
周公旦政ヲ攝シ諸侯ヲ朝セシメ億兆ヲ養教ス
周公聖明ニシテ禮樂ヲ製シ制度ヲ立テ文物大
ニ備ル又召公アリ王室ヲ輔翼ス稱シテ周召ト
曰フ王長シテ周公政ヲ還ス

康王名ハ釗成王ノ子ナリ成康ノ際天下安寧刑

錯テ四十餘年マテ用キス

○昭王

昭王名ハ瑕康王ノ子ナリ、王南巡シテ楚ニ至ル

膠舟ヲ以テ之ヲ載ス、溺レテ返ラス

○穆王

穆王名ハ滿昭王ノ子ナリ、王八駿馬ヲ得テ天下

ヲ遊行ス、諸侯睦シカラス

○共王

共王名ハ縶扈穆王ノ子ナリ

○懿王

懿王名ハ囂共王ノ子ナリ、時ニ王室衰微シ、詩人

風刺ス

○孝王

孝王名ハ辟方共王ノ弟ナリ、王非子ヲ封シ、附庸

小國

ノ君トナス、即チ秦ノ祖ナリ

附庸諸侯屬

○夷王

夷王名ハ燮懿王ノ子ナリ、天子始テ堂ヲ下リテ

諸侯ヲ見ル

○厲王

厲王名ハ胡夷王ノ子ナリ、王無道侈傲ナリ、衛巫

ヲシテ政ヲ謗ル者ヲ監セシム、召公諫ムレトモ

聽カス、國人相與ニ畔キ、王ヲ襲フ、王彘ニ出奔ス

是ニ於テ諸侯共ニ國事ヲ理ム、號シテ共和ト曰

フ

○宣王

宣王名ハ靜厲王ノ子ナリ、周公召公政ヲ輔ク、王

身ヲ側シテ行ヲ脩ム、卒ニ周室ヲ中興ス

○幽王

幽王名ハ宮涅宣王ノ子ナリ、初褒人罪アリ、女ヲ

學古言治身要

卷之一

金堂藏

入レテ贖入是ヲ褒姒トス王之ヲ嬖シ伯服ヲ生
ム以テ太子トシ申后及ヒ太子ヲ廢ス後申侯犬
戎ト入寇シ故ノ太子ヲ立ツ

○平王

東周以後ヲ春
秋ノ世ト稱ス

平王名ハ宜臼幽王ノ子ナリ王郛都ノ戎ニ逼ル
ヲ以テ避ケテ都ヲ東洛邑ニ遷シ東周ト號ス是
時周室衰微シ諸侯強ハ弱ヲ并ス齊楚秦晉始テ
大ニシテ政方伯ニ由ル孔子春秋ヲ作ルコ、ニ

方伯諸侯ノ長
ナリ

起ル

○桓王

桓王名ハ林平王ノ孫ナリ王鄭ヲ討チ大ニ敗ル
祝聃王ヲ射テ肩ニ中ツ

○莊王
齊桓覇業ヲ創
ス

莊王名ハ佗桓王ノ子ナリ王ノ時ニ當リ齊ノ桓
公國富ミ兵強シ上天子ヲ奉シ下諸侯ヲ合セ遂
ニ覇業ヲ創建スルモハ其相管夷吾ノ力多キニ
居ル天下其賜ヲ受ク

○僖王

僖王名ハ胡齊莊王ノ子ナリ

○惠王

惠王名ハ閼僖王ノ子ナリ初莊王少子頹ヲ愛ス
コ、ニ至リ邊伯等子頹ヲ奉シ亂ヲ作ス王櫟ニ
處ル後王城ニ歸リ子頹等ヲ殺ス

○襄王

襄王名ハ鄭惠王ノ子ナリ王子帶戎ヲ以シテ入
寇ス王之ヲ討ス王子帶齊ニ奔ル齊桓公管夷吾

小標註漢史提要

卷之一

周

十

付金堂藏

五公子武孟惠
公昭公懿公子
雍

太子古へ諸侯
ノ世子ニ通シ
テ稱ス

晉文公霸タリ
秦繆公西伯タ
リ

ヲシテ戎ヲ王ニ平ケシム齊桓公卒ス五公子立
ツヲ爭ヒ公卒シテ尸床ニ在ルコト六十餘日ニ
シテ尸蟲戸ヨリ出ツ齊大ニ亂ル宋ノ襄公諸侯
ニ霸タラント欲シテ成ラス晉ノ獻公ノ妃驪姫
太子申生ヲ譖殺ス公子重耳恐レテ狄ニ奔リ外
ニ流寓スルコト十九年備ニ艱楚ヲ嘗ム秦ノ繆
公兵ヲ發シ晉ニ送納ス卒ニ諸侯ニ霸タリ是ヲ
文公トス王秦ノ繆公ニ命シテ西方諸侯ノ伯ト
ス王狄后ヲ廢ス王子帶復狄ヲ以シテ入寇ス王
出テ鄭ニ居ル晉文公王ヲ逐ヘテ王城ニ入り子

帶ヲ殺ス晉文公卒ス然レトモ晉霸タルコト猶
數世ナリ

○頃王

頃王名ハ壬匡襄王ノ子ナリ

○匡王

匡王名ハ班頃王ノ子ナリ晉ノ靈公不君ナリ趙
穿襲テ公ヲ殺ス太史書シテ曰ク趙盾其君ヲ弑
スト以テ正卿ニシテ賊ヲ討セサルハ其罪盾ニ
在ルヲ示ス

○定王

定王名ハ瑜匡王ノ弟ナリ楚子鼎ノ大小輕重ヲ
問フ王孫滿對テ曰ク周德衰フト雖モ天命未タ
改ラス鼎ノ輕重未タ問フ可カラスト

○簡王

簡王名ハ夷定王ノ子ナリ、晉ノ悼公生テ十四年

甚タ賢明ナリ、霸業復振ス

○靈王
孔子生ル

靈王名ハ泄心、簡王ノ子ナリ、王ノ二十一年孔子

魯國ニ生ル

○景王

景王名ハ貴、靈王ノ子ナリ、鄭國公孫僑ヲシテ政

ヲナサシム、國大ニ治ル、孔子周ニ適キ禮ヲ老聃

ニ問フ

○悼王

悼王名ハ猛、景王ノ子ナリ、弟子朝亂ヲ作シ、王立

テ僅ニ七月ニシテ崩ス

○敬王

敬王名ハ匄、景王ノ子、悼王ノ弟ナリ、吳楚ヲ伐ツ

孔子卒ス

楚援ヲ秦ニ求ム、秦兵ヲ出シテ之ヲ援ク、孔子魯

ノ宰トナリ、國大ニ治マル、吳越ヲ伐ツ、越王勾踐

吳ヲ破リ、吳王闔廬傷キ死ス、子夫差嗣キ、越王ヲ

夫椒ニ破ル、勾踐和ヲ講ス、王ノ四十一年、大聖孔

子魯ニ卒ス、孔子名ハ丘、字ハ仲尼、諸侯ニ周遊ス

仁義禮樂以テ大ニ天下ヲ安ンセントス、用キラ

レス、晚ニ門弟子ヲ教育シ、斯文ヲ以テ任トナス

弟子三千人、書ヲ叙シ、禮ヲ記シ、詩ヲ刪リ、樂ヲ正

シ、易ノ彖繫象說卦文言ヲ叙ス、又春秋ヲ作り、君

臣ノ名分ヲ嚴ニス、當時ニ用キラレサル者ハ蓋

斯文道德ヲ云

彖繫象說卦文

言皆易ノ義理

ヲ敷衍セル書

ノ名 春秋魯

孔子生ル

卷之十一

周

上

春秋左傳卷之十一

學精言漢史抄

卷之一

金堂藏版

國歴史ノ名

五倫君臣父子

夫婦兄弟朋友

ノ倫序ナリ

○元王

○貞定王

シ天萬世ニ木鐸ヤシムルナリ仁義五倫此ヨリ述ス可シ

元王名ハ仁、越王ノ子ナリ、越吳ヲ滅ス、

貞定王名ハ介、元王ノ子ナリ、晉ノ六卿智氏趙氏

韓氏魏氏范氏中行氏互ニ相攻伐シ、趙韓魏ノ三

氏遂ニ強大ヲ致セリ、王崩ス、子去疾位ヲ踐ム、弟

叔帶之ヲ弑シテ自立ス、王子嵬叔帶ヲ殺シテ自

立ス

○考王

考王名ハ嵬、貞定王ノ子ナリ、平王ヨリ此ニ至ル

マテラ、春秋ノ世ト云ス

○威烈王

王以後ヲ戰國ノ世ト稱ス

威烈王名ハ午、考王ノ子ナリ、趙韓魏ノ三氏ニ命

シテ諸侯トス、是ヲ三晉ト云フ、王ヨリ以後ヲ戰

國ノ世ト云フ

○安王

安王名ハ驕、威烈王ノ子ナリ、齊ノ相田和其君ヲ

逐ヒ齊ヲ篡フ、遂ニ列シテ諸侯トナル、姜姓ノ齊

亡フ

○烈王

烈王名ハ喜、安王ノ子ナリ、時ニ周室微弱、諸侯朝

スルナシ、獨リ齊ノ威王來朝ス、天下之ヲ賢トス、

顯王名ハ扁、烈王ノ弟ナリ、衛ノ公孫鞅刑名ノ學ヲ好ム、秦ニ入リテ政ヲ執ル、齊魏ヲ伐チ以テ韓

○顯王

刑名刑法名分

ナリ

小票注漢史提要

卷之一 周

十三

金堂藏版

合從燕趙韓魏
齊楚六國縱ニ
長シ故ニ合シ
テ秦ヲ擯ク從
ハ縱ト同シ南
北ナリ

王道仁政ヲ云

ヲ救フ孫臏大ニ魏兵ヲ破リ其將龐涓ヲ殺シ太
子申ヲ虜ニス秦衛鞅ヲ商君ト號ス商君法ヲ用
斗ルコト嚴ナリ人多ク怨ム後秦ノ惠王車裂シ
テ以テ狗ヲ洛陽ノ人蕪秦從約ノ長トナリ燕趙
韓魏齊楚六國合從シテ秦ヲ擯ク秦魏人張儀ヲ
相トシ從約ヲ解カント欲シ齊魏ヲ欺キ趙ヲ伐
以蕪秦恐レテ趙ヲ去ル是ニ於テ從皆解ク齊ノ
田文孟嘗君ト號ス食客數千人名天下ニ重シ鄒
人孟軻業ヲ孔子ノ孫子思ノ門人ニ受ク專ラ仁
義王道ヲ唱ス用キラレス孟子七篇ヲ作ル

○慎靚王

慎靚王名ハ定顯王ノ子ナリ

○赧王

連衡西ノ秦ヨ
リ山東ノ諸侯
ヲ連又故ニ云
ス衡ハ横ト同
シ東西ナリ

赧王名ハ延慎靚王ノ子ナリ秦ノ惠王張儀ヲシ

テ楚韓齊趙燕ノ五國ニ説キ連衡シテ以テ秦ニ
事ヘシム張儀歸ル未タ至ラスシテ惠王卒ス武

王立ツ王素ヨリ儀ヲ悦ハス是ニ於テ諸侯皆秦

ニ畔キ復合從ス是ヨリ先キ燕君噲國ヲ其相子

之ニ讓ル國亂ル齊伐テ大ニ之ヲ破ル是ニ至リ

燕ノ昭王樂毅ヲ以テ上將トシ秦韓趙ト約シ齊

ヲ伐ツ齊ノ湣王莒ニ出奔ス樂毅齊ニ入り數月

ニシテ七十餘城ヲ下ス齊人湣王ノ子法章ヲ奉

樂毅齊諸城
ヲ下ス

學 稽古 言 漢 書 卷 之 一

金堂 藏 版

遠交遠國ハ交際ヲ睦クス、近攻近國ハ攻伐スルナリ

シ、莒城ヲ守ル樂毅齊ノ即墨及ヒ莒ヲ圍ムコト三年ニシテ未タ下ス能ハス、即墨ノ人田單ヲ推シテ將トナシ、大ニ燕軍ヲ破ル、是ニ於テ七十餘城復皆齊ノ有トナル、法章立ツ、是ヲ襄王トス、魏人范雎秦ニ入り、遠交近攻ノ策ヲ陳ス、秦雎ヲ以テ客卿トス、是時ニ當テ、魏ニ信陵君アリ、趙ニ平原君アリ、楚ニ春申君アリ、皆客ヲ好ム、亦名諸侯ニ重シ、秦韓ヲ伐ツ、秦又趙ヲ攻メ、大ニ破レテ降卒四十萬ヲ坑殺ス、秦又趙ヲ攻メ、大ニ破レテ還ル、秦ノ太子ノ子異人趙ヨリ逃レ歸ル、陽翟ノ

邯鄲趙ノ都

秦王政周ヲ滅ス

太賈呂不韋邯鄲ノ姬絶美ナル者ヲ娶リ、娠メルアリ、異人見テ之ヲ請フ、不韋之ヲ獻ス、子政ヲ生ム、實ニ始皇ナリ、燕ノ太子丹荆軻ヲシテ秦王ヲ刺ガシム、成ラス、秦王政兵ヲ發シテ周ヲ伐ツ、赧王秦ニ降リ、悉ク其邑ヲ獻ス、周亡フ、○周三十七主、八百六十七年ナリ、

秦

○始皇帝六國韓魏趙齊楚燕ナリ

始皇帝姓ハ嬴名ハ政實姓ハ呂氏ナリ、初テ六國ヲ滅シ、天下ヲ并ス、自ラ以爲ラク、功德三皇五帝ヲ兼タリト、號ヲ更メテ皇帝ト曰ヒ、自稱シテ朕

小 樂 註 漢 史 提 要

卷 之 一 秦

十五 金堂 藏 版

三十六郡 三川
河東南陽南郡
九江象郡會稽
潁川碭郡南海
菑郡東郡瑯琊
齊郡上谷漁陽
右北平遼西遼
東桂林鉅鹿邯

ト曰フ、謚法ヲ除ク、制シテ曰ク、朕ヲ始皇帝トシ、
後世計ヲ以テ數ヘ、二世三世ヨリ萬世ニ至リ、無
窮ニ傳ヘント、十月ヲ以テ歲首トス、天下ノ兵器
ヲ收メ、銷シテ以テ鐘鐻金人十二ヲ爲リ、天下ノ
富豪ヲ咸陽ニ徙シテ、自ラ都セリ、丞相李斯ノ議
ヲ用テ封建ノ制ヲ改メ、始テ郡縣トナシ、天下ヲ
分チテ、三十六郡トナス、帝東巡ス、韓人張良舊君
ノ仇ヲ報セント欲シ、力士ヲシテ鐵椎ヲ以テ始
皇ヲ博浪沙ニ狙撃ス、誤テ副車ニ中ツ、始皇驚キ、
大ニ索ムレトモ得ス、使ヲ遣シ、仙人不死ノ藥ヲ

鄠上黨大原雲
中九原雁門上
郡龍西北地漢
中巴蜀蜀郡縣
中長沙内史ナ
リ
萬里ノ長城、
詩書ヲ焚キ、儒
ヲ坑ニス、
阿房宮ヲ作ル

求ム、帝北巡シ、匈奴ヲ伐シム、遂ニ大ニ土木ヲ起
シ、萬里ノ長城ヲ築ク、臨洮ヨリ遼東ニ至ル、李斯
ノ言ニ從テ、詩書百家ノ書ヲ焚キ、儒士ヲ坑ニス、
帝以爲ラク、先王ノ宮室壯大ナラスト、是ニ於テ
朝宮ヲ營ミ、先ツ前殿阿房ヲ作ル、帝東巡シテ沙
丘ニ崩ス、丞相李斯宦者趙高遺詔ヲ矯テ、以テ子胡
亥ヲ立テ、長子扶蘇ヲ殺ス、帝天性剛戾ニシテ、天
下ノ事、皆自ラ決ス、

○二世皇帝

二世皇帝名ハ胡亥、始皇ノ少子ナリ、趙高ノ言ヲ
聽キ、大臣及ヒ諸公子ヲ誅シ、倍法ヲ嚴ニシ、刑名

學標註漢史抄

卷之一

金堂藏

陳勝兵ヲ起ス

劉項兵ヲ起ス

ヲ酷ニス、陳勝、吳廣兵ヲ斬ニ起ス、諸郡縣秦ノ苛法ニ苦シム、是ニ於テ爭フテ長吏ヲ殺シ之ニ應ス、沛人劉邦、楚人項梁相踵テ起ル、居鄆ノ人范增年七十、奇計ヲ好ム、往テ項梁ニ説テ曰ク、陳勝事ヲ舉ク、然ルニ楚ノ後ヲ立テスシテ、自立ス、今君兵ヲ稱ク、諸將爭フテ附スモノハ、楚ノ後ヲ立テシコトヲ欲望スレハナリ、君何ソ早ク謀ヲナサルヤト、梁即チ懷王ノ孫心ヲ立テ楚王トス、趙高、李斯ヲ譖ス、二世斯ヲ咸陽ノ市ニ腰斬ス、高遂ニ權ヲ專ニシ、鹿ヲ二世ニ獻シテ、馬ナリト曰ニ

項梁楚王ヲ立

趙高二世ヲ統ス

至ル項梁、秦ノ將章邯ト戰ヒ、敗死ス、既ニシテ秦趙ヲ攻ム、楚王宋義ヲ上將トシ、項羽ヲ次將トシ、以テ趙ヲ援フ、羽義ヲ殺シテ、其兵ヲ領シ、大ニ秦兵ヲ鉅鹿ニ破ル、羽諸侯ノ上將軍トナル、是ヨリ先キ趙高二世ヲ望夷宮ニ弑シ、公子嬰ヲ立テ秦王トス、嬰既ニ立チ、趙高ヲ族夷ス、初、楚懷王諸侯ト約シ、秦ヲ攻メ、先ツ關中ニ入り、定ムル者ハ王タラント、時ニ秦兵富強ナリ、諸將關中ニ入ルヲ利スル者ナシ、獨リ項羽前キニ項梁ノ敗死ヲ以テ、秦ヲ怨ムコト甚シ、是ニ於テ奮テ沛公ト俱ニ關

沛公關中ヲ定ム

ニ入ランコトヲ願フ諸將皆曰項羽ノ人ト爲リ
慍悍猾賊ナリ入リテ關中ヲ定ムル者ハ沛公ナ
ラント乃チ沛公ヲ遣ル沛公大ニ秦兵ヲ破リ關
中ヲ定ム秦王子嬰出テ降ル秦亡フ○秦三主十
五年ナリ

西漢

○高祖

隆準隆ハ高ナ
リ準ハ鼻ナリ

高祖姓ハ劉名ハ邦字ハ季沛ノ人堯ノ後裔ナリ
隆準ニシテ龍顏七十二黑子アリ寛仁大度ナリ
初陳勝起ル時蕭何曾參等ト兵ヲ沛ニ起シ以テ
諸侯ニ應ス旗幟皆赤色ナリ沛公既ニ秦王ヲ降

法三章人ヲ殺
スモノハ死罪
入ヲ傷ケ及ヒ
盜ヲナスモノ
ハ輕重ニヨリ
テ其罪ヲ論ス
ルナリ

シ咸陽ニ入ル父老ト法三章ヲ約シ悉ク秦ノ苛
法ヲ除ク民大ニ悦ブ兵ヲ遣リテ函谷關ヲ守ラ
シメ還リテ霸上ニ軍ス項羽モ亦諸侯ノ兵ヲ卒
ヒ西ノ方關ニ入ラントス至レハ則關門閉チタ
リ羽大ニ怒リ之ヲ攻メ破リ進ンテ將サニ沛公
ヲ擊ントス自ラ鴻門ニ陣ス范增羽ニ説テ急ニ
沛公ヲ擊タシム羽カ季父項伯羽ニ告テ曰彼大
功アリ之ヲ擊ツハ不義ナリ如カス因テ善ク之
ヲ遇センニハト沛公朝ニ百餘騎ヲ從ヘ鴻門ニ
至リ羽ニ謝ス羽沛公ヲ留メテ飲ス范增羽ニ目

鴻門ノ劍舞

シテ沛公ヲ刺サシム、羽應セス、乃項莊ヲシテ劍舞シテ、因テ沛公ヲ擊タシム、伯モ亦劍舞シ身ヲ以テ沛公ヲ翼蔽ス、樊噲事ノ急ナルヲ聞テ、直ニ入リ羽ヲ責ム、目眦盡ク裂ク、沛公起テ、則ニ如ク因テ噲ヲ招キ、間行シテ霸上ニ趨ル、居ルコト數日、項羽兵ヲ引キテ咸陽ヲ屠リ、降王子嬰ヲ殺シ、秦ノ宮室ヲ燒キ、其珍寶婦女ヲ收メテ東ニ去ル、秦民大ニ望ヲ失フ、幾クモガクシテ、羽自立シテ西楚ノ霸王ト稱シ、懷王ヲ義帝ト陽尊シテ、之ヲ江南ニ徙シ、諸將ヲ王トス、沛公ヲ漢王トシ、巴蜀

義帝假帝ナリ

韓信大將ニ拜ス
項羽義帝ヲ弑ス

漢中ニ王タリ、漢王怒テ羽ヲ攻ント欲ス、蕭何之ヲ諫ム、漢王即テ國ニ就キ、何ヲ以テ丞相トナス、韓信ハ淮陰ノ人ナリ、貧クシテ城下ニ釣ル、漂母之ニ飯ス、少年信ヲ侮リテ曰ク我胯下ヨリ出ヨ、信俯シテ胯下ヲ出ツ、市人皆笑ス、後漢ニ歸ス、漢王蕭何ニ聽テ、信ヲ大將ニ拜ス、王信カ計ヲ用キ、何ヲ留メテ軍食ヲ給シ、兵ヲ舉テ三秦ヲ定ム、陳平楚ヲ亡ケテ漢ニ歸ス、項羽義帝ヲ江中ニ弑ス、漢王諸侯ニ説テ曰ク天下共ニ義帝ヲ立ツ、今項羽之ヲ放弑ス、此天下ノ賊ナリ、宜ク討ツヘシト、自

ラ諸侯ノ兵五十六萬ヲ帥ヒ楚ヲ伐チ彭城ニ入
ル項羽兵三萬ヲ以テ漢軍ヲ睢水ニ破ル漢王數
十騎ト僅ニ身ヲ以テ免レ滎陽ニ至ル諸敗軍皆
會ス隨何九江王黥布ニ説キ楚ニ畔キ漢ニ歸セ
シム陳平多ク反間ヲ縱ツ羽大ニ范增ヲ疑フ增
怒リ疽背ニ發シテ死ス楚漢王ヲ圍ムコト急ナ
リ紀信曰事急ナリ請フ楚ヲ誑サント乃チ漢王
ノ車ニ乘リ東門ヨリ出ツ曰ク食竭キテ漢王出
テ降ルト楚人悉ク東門ニ聚ル漢王西門ヨリ出
ツルヲ得タル羽怒テ信ヲ燒殺ス漢韓信ヲ立テ

紀信楚軍ヲ誑
ス

大半三分ノ二
ヲ云

齊王トナシ英布ヲ淮南王トナス是時項羽助少
ク食竭ク乃漢ト約シ天下ヲ中分ニシ鴻溝以西
ヲ漢トナシ以東ヲ楚トナス項羽東ニ歸ル張良
陳平曰漢天下ノ大半ヲ有ツ今楚ノ兵士皆疲レ
飢ユ是時ニ方リテ和シテ擊タスンハ何ソ虎ヲ
養フテ患ヲ遺スニ異ナラシヤ王之ニ從ヒ羽ヲ
追フテ固陵ニ至ル羽垓下ニ在リ兵少ク糧乏シ
韓信等之ニ來シ大ニ之ヲ破リ羽ヲ圍ムコト數
重羽起テ帳中ニ宴シ虞美人ニ命シテ起テ舞ハ
シム慷慨悲歌淚數行下ル羽數百騎ト共ニ圍ヲ

漢王羽ヲ垓下
ニ圍ム

漢王帝位ニ即
ク

三傑

陳平秘計

潰シテ南ニ出テ、將ニ淮ヲ渡ラントス、道ヲ失シ
テ大澤ノ中ニ陷ル、漢ノ追兵之ニ及フ、羽東ノ方
烏江ニ至リ、自ラ刎ネテ死ス、楚悉ク定ル、諸城從
テ降ル、漢王即チ皇帝ノ位ニ即キ、長安ニ都ス、初
高祖ノ業ヲナスヤ、蕭何張良韓信ノ力居多ナリ
トス、之ヲ三傑ト云フ、符ヲ割キテ功臣宗室ヲ封
ス、叔孫通ニ命シテ朝儀ヲ起サシム、匈奴邊ニ寇
ス、帝自ラ之ヲ撃テ平城ニ至ル、冒頓單于ノ兵、帝
ヲ白登ニ圍ム、陳平カ秘計ヲ以テ乃解ク、呂后謀
テ韓信ヲ給テ之ヲ斬ル、陸賈ヲ南海ニ遣リ、尉佗

大尉兵ヲ掌ル
官ナリ

○惠帝

人彘

ニ諭ス、尉佗臣ト稱ス、封シテ南越王トス、帝太子
ヲ易ント欲ス、張良呂后ニ教ヘ、東園公綺里奇夏
黃公角里先生ヲ招致セシム、四人太子ニ侍ル、帝
曰、羽翼已ニ成ル、動シ難シト、呂后問フ、蕭相國死
セハ、誰カ之ニ代ル可キ、帝曰、曹參王陵陳平可ナ
リ、周勃ヲ太尉トナラシム可シ、劉氏ヲ安ンセン
者ハ、必勃ナラント、在位八年ニシテ崩ス、
惠帝名ハ盈、高帝ノ太子ナリ、呂太后趙王如意ヲ
殺シ、戚夫人ノ手足ヲ斷テ、眼ヲ去リ、耳ヲ薰ヘ、瘡
藥ヲ飲マシメ、廁中ニ置ク、命ケテ人彘ト曰フ、相

國蕭何卒ス曹參代テ相タリ參一ニ何ノ約束ニ
遵ヒ變更スル所ナシ帝崩ス子ナシ呂太后他人
ノ子ヲ立テ朝ニ臨ミテ制ヲ稱ス既ニシテ太后
之ヲ廢シテ幽殺ス恒山王義ヲ立テ帝トナス亦
他人ノ子ナリ太后諸呂ヲ王トス太后制ヲ稱ス
ルコト八年ニシテ崩ス諸呂亂ヲナサント欲ス
陳平周勃宗室劉章等悉ク諸呂ヲ捕斬ス諸大臣
代王ヲ迎立ス

○文帝

文帝名ハ恒高帝ノ中子ナリ陳平左丞相トナリ
周勃右丞相トナル淮南王長謀反ス蜀ニ廢徙セ

治安策

肉刑ヲ除ク

露臺臺上屋セ
サル者ヲ露臺
ト云

ラレテ死ス洛陽ノ人賈誼年二十餘才識卓然タ
リ上疏シテ方今ノ事勢ヲ論ス因テ治安策ヲ陳
ス淳于意罪アリ刑ニ當ス其女緹縈官婢ト爲リ
テ父ノ刑ヲ贖ハント請フ詔シテ肉刑ヲ除ク帝
恭儉ニシテ德ヲ以テ民ヲ化ス嘗テ露臺ヲ作ラ
ント欲ス其直ヒ百金ナリ上曰是中人十家ノ産
ナリト終ニ止ム屢田ノ租稅ヲ除ク是以テ風俗
淳厚家ニ給シ人ニ足リ海内安寧ナリ

○景帝

景帝名ハ啓文帝ノ子ナリ七國反ス初鼂錯人ト
爲リ峭直智囊ト號ス時ニ吳王濞朝セス錯曰久

學抄言海東抄卷之八

膠西膠東
趙
東甌南楚

腰斬古ハ罪ノ重キモノハ腰ヲ斬ル

○武帝

漢ノ年號此ニ始マル

對策天子ノ策問ニ對フル文

方士方術ノ士

大將軍コニ

武功爵十七級アリ

封王ヲモリテ天ヲ祭ルナリ

禪地ヲ掃フテ地ヲ祭ルナリ

正月陽曆ノ二月ニアタル

平蠱マジンヒノ類ナリ

吳王亂ヲ作シト謀ル之ヲ削ルモ反セシ削ラサルモ亦反セント吳ノ地ヲ削ルニ及シテ七國兵ヲ舉テ同ク反ス太尉周亞夫ヲシテ三十六將軍ニ將トシ往テ吳楚ヲ伐タシム錯衣盜ト善カラス盜言フ錯ヲ斬ラハ諸侯ノ兵又ニ血ヌラスシテ已マント錯遂ニ腰斬セラル周亞夫大ニ吳楚ノ軍ヲ破リ諸反皆平ス

武帝名ハ徹景帝ノ中子ナリ即位ノ初元ヲ建テ建元ト云フ漢ノ年號アル此ニ始マル董仲舒對策シテ王道德化ノ歸趣ヲ言フ方士ヲ遣シ神

仙ヲ求ム匈奴入寇ス衛青ヲ遣ハシ之ヲ擊ツ青ヲ大將軍トス民ニ詔シ爵ヲ買ヒ罪ヲ贖フコトヲ得セシム武功爵ト云フ比歲兵起リ經用竭ルヲ以テナリ張騫ヲ西域ニ使ス滇國ニ通シ又西南夷ニ事アリ衛青霍去病ヲ遣リ復匈奴ヲ擊ツ泰山ニ封シ肅然ニ禪ス太初曆ヲ造ル正月ヲ歲首トス李廣利ヲ遣ハシ匈奴ヲ擊ツ江充巫蠱ノ獄ヲ治メテ曰フ太子ノ宮ヲ掘リ木人ヲ得ルコト尤多シト太子據悞レテ反ス劉屈氂ト合戦スルコト五日太子敗レ湖ニ至リテ自經ス弗陵ヲ

立テ太子トス、霍光ヲ大司馬大將軍トシ、遺詔ヲ受テ、少主ヲ輔ケシム。帝雄材大略アリ、文景豐富ノ後ヲ受ケ、武事ヲ究ム。是ニ於テ匈奴速ク遁ル、又西域ニ通シ、朝鮮南粵ヲ伐チ、大ニ國疆ヲ擴ム。又大ニ土木ヲ興シ、皆侈靡ヲ極ム。末年盜起ル、然ルニ、帝天下ノ賢良才學ノ士ヲ罷用シ、儒學文章最モ盛ナリ。

○昭帝
蘇武匈奴ヨリ還ル

昭帝名ハ弗陵、武帝ノ少子ナリ。此時蘇武匈奴ヨリ還ル。武初メ匈奴ニ使ス、匈奴武ヲ降ラシム。武屈セス、常ニ漢ノ節ヲ持ス。匈奴武ヲ大澤ノ中ニ

燕王反ヲ謀ハ

置ク。是ニ至リテ十九年、始テ歸ル。頭髮盡ク白シ。燕王旦、帝ノ兄ニシテ、位ニ即ク能ハサルヲ以テ、反ヲ謀リ、桑弘羊等ト俱ニ亂ヲ爲サントシ。霍光ヲ誣奏ス。帝年十四、能ク其姦ヲ燭シ、聽カス。幾モナクシテ、謀漏レ、旦等自殺ス。帝年二十一ニシテ崩ス。帝ノ世ニ方リテ、霍光政ヲ攝シ、天下無事。民ト共ニ休息ス。昌邑王ヲ立ツ。淫戲度ナシ。光皇太后ニ奏シテ之ヲ廢シ、武帝ノ曾孫ヲ迎ヘ立ツ。

昌邑王

○宣帝
衛太子即チ太子
子攬ナリ

宣帝名ハ病已、詢ト更名ス。衛太子ノ孫武帝ノ曾孫ナリ。大將軍光ノ妻顯、皇后許氏ヲ毒弑シ、光ニ

銚項甯投書ヲ
受クル函ナリ

羌西夷ナリ

勸メテ、其女ヲ宮ニ入レ后トナス、尋テ光卒ス、霍氏謀反シ、誅ニ伏ス、霍后廢セラレ、潁川ノ太守趙廣漢、銚項甯ヲ作り、吏民ノ投書ヲ受ケ、相告訐セシム、是ニ於テ、黨離散ス、人ノ誣告スル所トナリ、腰斬セラレ、民皆追思ス、先零ノ羌叛ス、趙充國年七十餘、將トナリ、屯田ノ策ヲ獻ス、羌虜降ル、魏相丙吉、相嗣テ相トナリ、政ヲ輔久、相務テ壅蔽ヲ防キ、吉陰陽ヲ調フヲ以テ己カ任トナス、黃霸潁川ノ太守トナリ、治天下第一タリ、相トナリテ、功名郡ノ時ヨリ損ス、耿壽昌穀賤シケレハ價ヲ增

常平倉

單于漢ニ天子ト曰カ如キ

二十石郡守ノ秩ナリ

○元帝

シテ糴シ以テ農ヲ利シ、穀貴ケレハ價ヲ減シテ糴シテ、以テ民ヲ利ス、名テ常平倉ト曰フ、匈奴亂ル、五單于爭ヒ立ツ、呼韓邪單于臣ト稱シ來朝ス、功臣ヲ麒麟閣ニ畫ク、凡十一人、霍光之カ首タリ、帝良二千石ヲ精選シ、次ヲ以テ之ヲ朝ニ用ユ、吏其職ニ稱ヒ、民其業ヲ安シス、中興ト稱ス、元帝名ハ奭、宣帝ノ太子ナリ、王氏ヲ立テ皇后トス、後王莽ノ禍實ニ此ニ胚胎スト云、帝弘恭石顯ノ譖ニ惑ヒ、蕭望之ヲ捕ス、望之自殺ス、匈奴ノ呼韓邪單于漢ノ婿タランコトヲ願フ、後宮ノ王昭

○成帝

元大ナリ尊稱

ニ用フ舅母ノ

兄弟ヲ云

關内侯盧壽ニ

テ封地ナクシ

テ侯ノ爵ヲ受

ルモノ

君ヲ賜フ帝優游不斷ニシテ漢業衰フ

成帝名ハ驚元帝ノ子ナリ時ニ元舅王鳳大司馬

大將軍トナリ尚書事ヲ領ス又王氏五人關内侯

タリ五侯ト稱ス太后ノ弟ノ子莽ヲ新都侯ニ封

ス莽儉讓ニシテ士ニ下リ以テ名譽ヲ養フ帝威

儀アリ然レトモ酒色ニ荒ム政外家ニアリ張禹

等相トナリ漢業愈衰フ

○哀帝

定陶恭王定陶

ハ封土恭王益

王ハ爵

哀帝名ハ欣定陶恭王康ノ子元帝ノ孫ナリ帝董

賢ヲ嬖シ恩寵日ニ渥シ連リニ大司馬衛將軍ニ

進ム帝崩ス賢罪ヲ以テ即日自殺ス太皇太后王

莽ヲ大司馬トシ尚書事ヲ領セシム

平帝名ハ箕子衍ト更名ス元帝ノ庶孫中山王興

ノ子ナリ王莽ヲ安漢公トナシ又宰衡ヲ加號シ

尋テ九錫ヲ加ス其女ヲ納レテ皇后トナス莽臘

日椒酒ヲ上リ毒ヲ置ク帝崩ス太皇太后詔シテ

宣帝ノ玄孫ヲ徵ス又安漢公莽ニ詔シテ攝ニ居

リ詐ヲ踐マシム

○孺子嬰

假皇帝

孺子嬰宣帝ノ玄孫廣戚侯勲ノ孫年二歳ナリ王

莽假皇帝ト稱ス劉崇翟義兵ヲ起シ莽ヲ討ス克

タスシテ死ス莽真天子ノ位ニ即キ國ヲ新ト號

宰衡周公聚宰

ニ位シ伊尹阿

衡ニ居ル皆人

臣君位ヲ攝ス

ルノ稱ナリ

九錫錫馬衣服

樂則朱戶納陛

虎賁弓矢鉄鉞

鉅鎧ミナ天子

ノ制ナリ

劉氏兵ヲ舉ク

日角 天庭ノ骨

起リ、日ノ狀ノ
如キナリ、

平林賊ノ軍號

ス、孺子ヲ廢シテ定安公トス、是ニ於テ諸州兵起
ル、漢ノ宗室劉縯及ヒ弟秀、兵ヲ舂陵ニ起ス、縯剛
毅ニシテ大節アリ、秀隆準日角、謹厚ナリ、子弟倚
安ス、明年諸將共ニ劉玄ヲ推シ立テ、皇帝トス、
玄ハ舂陵戴侯買ノ後平林ノ軍中ニ在リ、更始將
軍ト號ス、諸將其懦弱ヲ貪リテ之ヲ立シ、劉秀大
ニ莽カ兵ヲ昆陽ニ破ル、劉縯兄弟威名日ニ盛ナ
リ、玄乃縯ヲ殺ス、成紀ノ隗囂成都ノ公孫述兵ヲ
起ス、更始諸將ヲ遣ハシ武關ヲ攻ム、折人鄧曄兵
ヲ起シ、長安ニ迎ヘ入ル、衆兵莽ヲ殺シテ首ヲ更

赤眉ノ賊起ル

始ニ詣テ更始都ヲ長安ニ遷ス、劉秀ヲ以テ大司
馬ノ事ヲ行ハシム、遣リテ河北ヲ徇ス、過ル所莽
ノ苛政ヲ除ク、是ヨリ先キ班崇カ兵起リ、赤眉ト
號ス、進ンテ長安ヲ攻ム、更始出奔ス、既ニシテ赤
眉ニ降リ、尋テ殺サル、立テヨリ三年ナリ、漢十二
主、二百十年ナリ、王莽ノ篡位、僅ニ十五年、是ヨリ
前數月大司馬劉秀位ニ河北ニ即ク、

東漢

○光武帝

光武帝名ハ秀、字ハ文叔、南頓ノ令欽ノ子、高祖九
世ノ孫ナリ、初南陽ノ鄧禹秀ニ謂テ曰、方今天下

學
林
言
漢
史
記
卷
之
一

卷
之
一

金
堂
藏
版

下者占筮者ナリ

ヲ治メントスル、專ラ英雄ノ心ヲ延攬シ、務メテ
民心ヲ結フニ若カス、且高祖ノ業ヲ立テ、萬民ノ
命ヲ救ハ、天下ハ定ムルニ足ラスト、秀是ヨリ
禹ト與ニ計議ヲ定ムト者、王郎帝ヲ邯鄲ニ稱ス、
秀馮異鄧禹等ト進ミ伐チ、王郎ヲ斬ル、馮異人ト
爲リ、謙退諸將功ヲ論スル毎ニ、獨リ樹下ニ屏久
人大樹將軍ト號ス、秀遂ニ蕭王トナリ、銅馬諸賊
ヲ降ス、尋テ諸將尊號ヲ奉ラント請フ、許サス、耿
純馮異等固ク請フ、乃チ皇帝ノ位ニ即キ、洛陽ニ
都ス、時ニ關中未タ定マラス、鄧禹兵ヲ引テ而シ

劉秀帝位ニ即
久

垂髫童稚ナリ
戴白父老ナリ

足ヲ帝ノ腹ニ
加ス

テ西ス、兵百萬ト號ス、到ル所百姓ヲ勞來ス、垂髫
戴白車下ニ滿ツ、名關西ニ震フ、禹栒邑ニ至リ、久
シク兵ヲ進メス、赤眉モ亦長安ニ入ル、禹赤眉ト
戰ヒ、利アラシシテ奔ル、馮異之ニ伐リ關ニ入り、
赤眉ヲ攻メ、大ニ之ヲ破ル、赤眉降ル、梁王劉永帝
ヲ稱ス、帝蓋延ヲ遣シテ之ヲ擊破ス、永尋テ其將
ノ殺ス所トナル、吳漢等董憲龐萌等ヲ斬ル、江淮
山東悉ク平ク、時ニ惟隗囂公孫述ノミ未タ降ラ
ス、處士嚴光等ヲ徵ス、光帝ト同シク遊學ス、徵サ
レテ至ル、帝ト同ク臥シテ、足ヲ帝ノ腹上ニ加フ、

東漢

廿金堂藏版

隗囂ヲ征ス

帝自ラ將トシテ隗囂ヲ征ス涼州ノ牧實融等兵ヲ率ヰテ從フ馬援行在ニ在リ米ヲ聚テ山谷トナシ軍ノ向フ所ヲ開示ス囂兵ヲ起シテヨリ天水ニ據リ自ラ西州ノ上將軍ト稱ス是ニ至リテ逼ラレテ餓死ス隴右平ク帝嘗テ曰人足ラサルヲ苦ム既ニ隴ヲ得テ復蜀ヲ望ムト大將軍岑彭大司馬吳漢等ヲシテ公孫述ヲ討セシム述初メ蜀ニ據リ帝ト稱シ國ヲ成ト號ス是ニ至テ岑彭戰艦ヲ發シ到ル處攻陷ス述盜ヲシテ彭ヲ刺殺セシム吳漢等尋テ進ミ成都ニ至リ述ヲ撃チ之

蜀ヲ征ス

貴人官名

ヲ殺ス延岑成都ヲ以テ降ル蜀地悉ク平ク功臣ノ封邑ヲ更増ス皆列侯ヲ以テ第二就カシメ吏賊ヲ責メス皇后郭氏ヲ廢シ貴人陰氏ヲ立ツ馬援ヲ以テ伏波將軍トナシ交趾ヲ討ス徵側徵貳ヲ斬テ還ル皇太子彊ヲ廢シ東海王陽ヲ立ツ名ヲ莊ト改ム馬援武陵蠻ヲ征シ軍中ニ卒ス是ヨリ先キ匈奴和親ヲ求ム之ヲ許ス帝政體ヲ明ニシ人才ヲ登用ス國內大ニ治マル是ヲ以テ當時州牧郡守縣令皆良吏ト稱ス帝最モ高節ノ士ヲ重ンス漢ノ世清節ノ士多キコト此ヨリ昉マル

匈奴和親ヲ求ム

漢清節ノ士多シ

典禮典則禮樂

天下未タ平カナラサルニ方リテ帝己ニ文治ニ志アリ、首トシテ大學ヲ起シ、典禮ヲ脩明ス、燦然タル文物大ニ觀ルヘキアリ、

○明帝

三十八將鄧禹

馬成、王梁、

費復、陳俊、耿种、

杜茂、寇恂、傅俊、

岑彭、堅鐔、馮異、

王霸、朱祜、任光、

祭遵、李忠、景丹、

萬續、蓋延、邳彤、

鮑期、劉植、耿純、

臧宮、馬武、劉隆、

二十八宿、角元、

成、旁、心、尾、箕、斗、

牛、女、虛、危、室、壁、

奎、畢、胃、昂、畢、虛、

參、井、鬼、柳、星、張、

翼、轸、

○章帝

明帝名ハ莊、光武ノ第四子ナリ、馬氏ヲ立テ皇后トス、援ノ女ナリ、既ニ立テ、愈謙肅ナリ、中興ノ功臣二十八人ヲ雲臺ニ畫キ、二十八宿ニ應ス、馬援、椒房ノ親ヲ以テ與カラス、班超西域ニ使シ、功アリ、定遠侯ニ封セララル、帝ノ時ニ方リ、佛教昉テ禹域ニ入ル、帝性愔察ニシテ、陰微ヲ發クヲ明トス、然レトモ吏其人ヲ得、民其業ヲ安シ、戸口繁殖ス、

章帝名ハ炟、明帝ノ第五子ナリ、陳寵上疏シテ曰

久政ハ猶琴瑟ヲ張ルカ如シ、大絃急ナレハ小絃絶ッ、宜ク煩苛ヲ去ル可シト、帝深ク之ヲ納ル、時ニ北匈奴衰ヘ、部衆來降ス、帝明帝察々ノ後ヲ受ケ、人ノ苛切ヲ厭フヲ知リ、事寬厚ニ從ヒ、忠恕ノ長者政ヲ爲ス、民其慶ニ賴ル、

○和帝

長者溫厚ノ人ヲ云

和帝名ハ肇、章帝ノ第四子ナリ、帝甫メテ十歲、竇后朝ニ臨ム、竇憲外戚ヲ以テ侍中タリ、罪アリ、匈奴ヲ擊テ自贖ハンコトヲ求ム、后之ニ從ス、憲大ニ匈奴ヲ破リテ還ル、後大將軍トナリ、父子兄弟

官者宮刑セラ
レ、禁内ニ給仕
スルモノ、又官
官ト云、

○殤帝

朝廷ニ充滿ス、遂ニ逆ヲ謀ル、帝宦者鄭衆ト議ヲ
定メ、兵ヲ勒シ、憲カ印綬ヲ收メ、迫テ自殺センム、
衆ヲ以テ大長秋トナシ、與ニ政ヲ議ス、宦官權ヲ
用ヰル、此時ヨリ始マル、

殤帝名ハ隆、和帝ノ少子ナリ、生テ百餘日ニシテ
卽位シ、在位數月ニシテ崩ス、皇太后鄧氏朝ニ臨
三、鄧騭ト共ニ策ヲ定メ、嗣ヲ立ツ、

○安帝

安帝名ハ祐、清河王慶ノ子、章帝ノ孫ナリ、鄧后朝
ニ臨ミ、鄧騭大將軍タリ、時ニ邊軍多事ナリ、騭涼
州ヲ棄テ、カヲ北邊ニ并セント欲ス、郎中虞翊從

盤根盤互ノ根
錯節交錯ノ節

○順帝

ハス、騭翊ト隙ヲ生ス、會長歌賊起ル、因テ翊ヲ朝
歌ノ長トナス、翊曰、盤根錯節ニ遇ハサレハ、利器
ヲ別ツコトナシト、賊ヲ誘殺シ、縣境皆平ク、後翊
又大ニ羌衆ヲ擊破ス、羌皆散ス、太后崩シテ、騭罷
ラレテ自殺ス、時ニ宦者及ヒ上ノ乳母王聖事ヲ
用ウ、帝崩ス、太后閻氏朝ニ臨ム、北鄉侯懿ヲ迎立
ス、宦者孫程等濟陰王ヲ迎ヘ、太后ヲ遷ス、

順帝名ハ保安、帝ノ子ナリ、宦官功ヲ以テ侯ニ封
セラル、者十九人、梁氏ヲ立テ皇后トス、梁冀大
將軍タリ、張綱冀カ君ヲ無スルノ心アルヲ劾奏

○冲帝

ス

冲帝名ハ炳順帝ノ子ナリ、在位三月ニシテ崩ス、梁冀太后ニ白シ、渤海孝王ノ子ヲ迎立ス、李固長年有徳ヲ擇ハント言ス、冀從ハス、

○質帝

跋扈將軍

質帝名ハ續、章帝ノ玄孫ナリ、八歳ニシテ即位ス、聰慧ナリ、帝梁冀ノ擅横ヲ惡ム、目シテ曰ク、此跋扈將軍ナリト、冀深ク惡ム、遂ニ之ヲ毒弑ス、冀蠱吾侯ヲ迎立ス、

○桓帝

桓帝名ハ志、平原王翼ノ子、章帝ノ曾孫ナリ、時ニ梁冀事ヲ用ヰル二十年、威内外ニ行ハレ、天子手

名節、名分、節義、
臧否人ノ善惡、
正邪ヲ評論ス
ルナリ、

禁錮仕官セシ
メザルナリ、

ヲ拱スルノミ、是ヨリ冀凶恣日ニ甚シ、帝宦者單超等ト謀リ、兵ヲ勒シテ冀カ印綬ヲ收ム、冀自殺ス、梁氏少長トナク棄市セラル、宦官倖横肆ナリ、此時陳蕃、李膺、其徒ト名節ヲ以テ自ラ高トシ、臧否ヲ以テ相尚ヒ、宦官ヲ排セントス、是ニ於テ、宦官人ヲシテ謂ハシメテ曰、李膺、大學ノ遊士ヲ養ヒ、與ニ部黨ヲナシ、朝廷ヲ誹訕シ、風俗ヲ疑亂ス、帝震怒シ、黨人ヲ逮捕シ、膺等ヲ獄ニ下ス、事杜密、陳寔、范滂等、二百餘人ニ連ル、四出追捕シ、皆獄ニ下ス、後赦シテ、田里ニ歸セシメ、終身ヲ禁錮ス、

○靈帝

靈帝名ハ宏、章帝ノ玄孫ナリ。桓帝子ナシ、竇皇后
之ヲ立テ、而シテ朝ニ臨ム。竇武大將軍トナリ、陳
蕃大傳タリ。李膺等朝ニ列ス。蕃武等宦官ノ政權
ヲ弄スルヲ惡ミ、悉ク之ヲ誅鋤セントシテ、謀漏
ル、就ラスシテ死ス。鉅鹿ノ張角ナル者、妖術ヲ以
テ其徒ヲ集合シ、各渠帥ヲ立テ、一時俱ニ蜂起ス。
皆黃巾ヲ着ケ、人民ヲ劫掠ス。皇甫嵩ヲ遣ハシ、之
ヲ討ス。角敗死ス。沛國ノ曹操モ亦兵ヲ起ス。操少
クシテ機警、權數アリ。汝南ノ許劭操ヲ論評ス。治
世ノ能臣、亂世ノ姦雄ナリト。帝崩ス。子辨立ッ。何

曹操兵ヲ起ス

權數權謀術數
ナリ

渠帥カシラ
黃巾ノ賊

○獻帝

太后朝ニ臨ミ、后ノ兄何進尚書ノ事ヲ録ス。袁紹
進ニ勸メテ、宦官ヲ誅鋤セントス。太后肯ハス。紹
等四方ノ猛將ヲ召シ、太后ヲ脅シ、遂ニ將軍董卓
ノ兵ヲ召ス。進ノ謀頗泄ル。宦官張讓等進ヲ殺ス。
是ニ於テ紹直ニ兵ヲ勒シ、宦官ヲ執ヘ、少長トナ
ク皆之ヲ殺ス。凡一千餘人。卓至リテ亂ノ由ヲ問
ス。辨年十四、語了スヘカラス。陳留王答テ遺スナ
シ。卓辨ヲ廢シ、陳留王ヲ立テ、何太后ヲ弑ス。紹卓
ト議協ハスシテ出奔ス。

獻帝名ハ協、靈帝ノ中子ナリ。時ニ關東ノ州郡兵

學精評漢史抄

卷之一

寸金堂藏

孫堅兵ヲ起ス

ヲ起シテ董卓ヲ討ス、袁紹ヲ推シテ盟主トス、卓
洛陽ノ宮廟ヲ焼キ、都ヲ長安ニ遷ス、富春ノ孫堅
モ亦兵ヲ起シ、袁術ノ兵ト合シ、共ニ卓ヲ討ス、堅
卓ノ兵ヲ撃チテ、之ヲ破ル、術堅ヲシテ荊州ヲ圖
ラシム、劉表ノ將黃祖ニ射殺セラル、司徒王允中
郎將呂布ト謀リ、卓ヲ刺殺ス、遂ニ屍ヲ市ニ暴ス、
卓ノ將李傕郭汜、兵ヲ舉ケ闕ヲ犯シ、允ヲ殺ス、布
走ル、涿郡ノ劉備大志アリ、言語寡ク、喜怒色ニ形
ハレス、是ニ至リテ兵ヲ起ス、河東ノ關羽涿郡ノ
張飛皆備ト親ニ善シ、備起ルニ及ヒ、二人之ニ從

劉備兵ヲ舉ク

關羽張飛

孫郎郎八年以
親押ノ稱

フ、孫堅ノ子策弟權ト俱ニ起リ、江ヲ渡ル、舒人周
瑜之ニ從フ、轉鬪シテ、向フ所敢テ其鋒ニ當ルモ
ノナシ、百姓孫郎至ルト聞キ、皆魂魄ヲ失フ、至ル
所一モ犯スナシ、民大ニ悦ブ、帝洛陽ニ還ル、曹操
自ラ司隸校尉ヲ領シ、尚書事ヲ録ス、遂ニ車駕ヲ
奉シ許ニ遷ル、曹操呂布ヲ殺ス、初呂布奔リテ袁
術ニ歸シ、又袁紹ニ歸ス、後操ノ攻ムル所トナリ、
劉備ニ投ス、尋テ又備ヲ襲フ、備走テ操ニ歸ス、布
屢戰ヒ、困迫シテ降リ、卒ニ殺サル、操一日備ニ謂
テ曰ク、今天下ノ英雄、唯使君ト操トノミ備方ニ

使君州牧ヲ云

小標在漢史抄

卷之一

東漢

三十四

寸金堂藏

學

標言漢史提要

卷之一

迅雷云々論語
孔子ノ語

食シ、匕箸ヲ失フ、時正ニ雷電ス、備因テ曰ク、迅雷
風烈必變スト、以アルカ、大時ニ孫策既ニ江東ヲ
定メ、又許ヲ襲ハント欲シ、未タ發セス、先ニ殺ス
所ノ許貢カ、奴ニ射ラル、創甚シクシテ卒ス、弟權
代リテ衆ヲ領ス、車騎將軍董承密詔ヲ受クト稱
シ、備ト俱ニ曹操ヲ誅セント欲ス、操之ヲ撃ツ、備
先冀州ニ奔リ、兵ヲ領シテ荊州ニ如キ、劉表ニ歸
ス、諸葛亮襄陽ノ隆中ニ寓居ス、自管仲樂毅ニ比
ス、備三タヒ往テ乃見ル、因テ策ヲ問フ、亮三分ノ
策ヲ陳シテ曰ク、曹操天子ヲ挾テ諸侯ニ令ス、與

諸葛孔明

三分ノ策

赤壁ノ戰

ニ鋒ヲ爭ヒ難シ、孫權江東ニ據有ス、與ニ援トス
ヘシ、若シ利益ヲ跨有シ、時變ヲ觀ハ、漢室興ルヘ
シト、備曰ク善シ、亮ト情好日ニ密ナリ、時ニ曹操
自ラ丞相トナル、操劉表ヲ撃チ之ヲ殺ス、子琮荊
州ヲ以テ降ル、備夏口ニ奔ル、操軍ヲ進メテ東ニ
下ル、備援ヲ權ニ求メ、周瑜ト俱ニ操ヲ逆ヘ進ミ
テ赤壁ニ遇フ、瑜戰艦ヲ燒キ、悉ク之ヲ奔ラス、操
カ軍人馬溺死スルモノ甚タ多シ、備是ヨリ荊州
江南ノ諸郡ヲ徇ス、備關羽ヲ留メテ荊州ヲ守ラ
シメ、自ラ兵ヲ引キテ蜀ニ入リ、益州ヲ取ル、已ニ

學林言漢史提要

卷之十一

金堂藏

曹丕獻帝ヲ廢ス

後漢 魏吳ヲ附ス

○昭烈帝

昭烈帝名ハ備字ハ玄德景帝ノ子中山王勝ノ後

大事漢室ヲ再造スルヲ云

ナリ蜀ニ都ス蜀中傳言ス曹丕篡立シ漢帝害セラルト漢中王喪ヲ發シ服ヲ制シ諡シテ孝愍ト曰フ群下王ニ尊號ヲ稱スルヲ勸ム乃帝位ニ即久諸葛亮ヲ丞相トス帝關羽ノ歿スルヲ恥チ自ラ將トシテ吳ヲ伐ツ孫權使ヲ遣ハシテ魏ニ降ル魏權ヲ封シテ吳王トス吳ノ將陸遜漢ノ四十餘營ヲ破ル帝走リテ白帝城ニ入ル帝病篤シ諸葛亮ニ謂テ曰ク君ノ才曹丕ニ十倍ス必能ク大事ヲ定メン嗣子輔クヘクハ之ヲ輔ケヨ如シ不可ナレハ君自ラ取レト帝又太子禪ニ敕シ亮ニ

小標柱漢史提要

卷之十一

後漢魏吳ヲ附ス

三六

金堂藏

父事セシム遂ニ崩ス鄧芝ヲ吳ニ使ス吳魏ト絶
シ復漢ト和ス

○後帝

魏主丕殂ス

中原江北ノ地ヲ云

後帝名ハ禪昭烈ノ子ナリ丞相亮遺詔ヲ奉シテ
政ヲ輔佐シ忠誠私ナシ南征シテ孟獲ヲ擒ニス
南方定ル魏主丕屢吳ヲ侵サントシテ果サス遂
ニ殂ス子叡立ツ丞相亮諸軍ヲ帥ヒ魏ヲ伐ツ發
スルニ臨ミテ上表シテ曰ク先帝崩スルニ臨ミ
寄スルニ大事以テス今南方已ニ定ル當ニ中原
ヲ定メ漢室ヲ興復スヘシト遂ニ漢中ニ屯ス參
軍馬稷亮カ節度ニ違ヒ大ニ街亭ニ敗ル吳主權

孫權帝ト稱ス

皇帝ト稱シ建業ニ都ス丞相亮復祈山ニ出ツ魏

司馬懿ヲシテ諸軍ヲ督シテ之ヲ拒カシム亮張

郃ト戰ヒ大ニ之ヲ破ル己ニシテ糧竭クルヲ以

テ軍ヲ退ク亮歸リテ農ヲ勸メ武ヲ講スル三年

水牛流馬ヲ作りテ米ヲ運シ又魏ヲ伐チ兵ヲ分

チテ屯田セシム亮屢戰ヲ挑ム懿敢テ出テ戰ハ

ス幾ナラスシテ亮病篤シ遂ニ軍中ニ卒ス長史

楊儀軍ヲ整ヘテ還ル懿敢テ逼ラス亮政ヲ爲ス

偏私ナシ蜀中亮ノ喪ヲ聞キ上下皆歎息流涕シ

遂ニ病ヲ發シテ死スルニ至ル者アリ蔣琬ヲ以

水牛流馬登車

ヲシカケテ運

漕スル具ナリ

亮軍中ニ卒ス

學

標言漢史摘要

卷之十一

金堂藏版

魏主叡殂ス子芳立ッ

吳主權殂ス子亮立ッ

魏主芳廢セラレ髦立ッ

吳主休立ッ

魏主煥立ッ

テ尚書令トシ尋テ費禕董允姜維等政ヲ爲ス魏主叡殂ス子芳立ッ司馬懿曹爽政ヲ輔ク魏ノ太傅司馬懿卒ス其子師自ラ撫軍大將軍トナリ尚書事ヲ録ス吳主權殂ス子亮立ッ盜大將軍費禕ヲ殺ス姜維事ヲ用キ數兵ヲ出シテ魏ヲ攻ム克タス魏ノ司馬師其主芳ヲ廢シ高貴卿公髦ヲ迎立ス魏ノ司馬師卒ス弟昭自ラ大將軍トナリ尚書事ヲ録ス吳ノ孫綝其主亮ヲ廢シ瑯琊王休ヲ迎立ス綝尋テ誅ニ伏ス魏ノ司馬昭其主髦ヲ弑シ常道卿公煥ヲ迎ヘ立ッ魏ノ將鄧艾鍾會兵ヲ

帥ヒテ關口ニ寇ス姜維拒キ戰ヒ敗走ス還テ劍閣ヲ守ル魏ノ司馬昭始テ相國晉公ト稱ス鍾會進ミテ劍閣ヲ攻ム姜維之ヲ破ル鄧艾進ミテ陰平ニ至ル諸葛瞻艾ト綿竹ニ戰フテ敗績ス其子尚之ニ死ス鄧艾直ニ成都ニ至ル譙周帝ニ降ヲ勸ム北地王諶怒リテ曰ク若シ理窮リ力屈セハ父子君臣同ク社稷ニ死セン奈何ソ降ランヤト乃チ昭烈ノ庶ニ哭シテ自殺ス帝降ル魏封シテ安樂公トナス二主四十三年ニシテ後漢亡ス西東兩漢ニ通シテ凡二十六主四百六十九年ナ

後漢亡ス

吳主皓立ス

魏亡ス

リ魏檻車ヲ以テ鄧艾ヲ徵ス鍾會謀反シテ誅ニ
伏ス吳主休歿ス兄ノ子烏程侯皓立ッ魏ノ司馬
昭卒シ子炎嗣ク魏主ニ迫リテ位ヲ篡ス魏ハ曹
丕ヨリ是ニ至リテ五世四十六年ナリ

晉

武帝

武帝姓ハ司馬名ハ炎昭ノ子懿ノ孫ナリ洛陽ニ
都ス魏主ヲ廢シテ陳留王トス帝初吳ヲ滅スノ
志アリ羊祜ヲ以テ荊州ノ事ヲ督セシム吳モ亦
陸抗ヲ以テ諸軍事ヲ督セシム既ニシテ抗死ス
祜吳ヲ伐タント請フ議者以テ不可トナス唯リ

江積江中岩石
ノアル所ナリ

吳亡ス
面縛手ヲ前ニ
縛スルナリ降
ル時ノ禮ナリ
輿觀棺ヲ車ニ
ノヒテ死罪ナ
ルヲ示ス亦降
禮ナリ

杜預張華其計ヲ贊ス既ニシテ祜モ亦病テ死ス
杜預鎮南大將軍トナリ荊州ノ軍事ヲ督ス時ニ
吳主皓政ヲ失シ淫虐日ニ甚シ預上表シテ連リ
ニ之ヲ征セント請フ帝之ヲ許ス預大舉シテ江
陵ヨリ出ツ王濬巴蜀ヨリ下ル吳人江積要害ノ
所ニ於テ鐵鎖ヲ施シ江ヲ截ツ王濬鎖ヲ燒キ之
ヲ斷絶シ進ミテ江ヲ渡リ行ク諸城ヲ陷ヒ徑チ
ニ建業ニ向ヒ石頭城ニ入ル吳主面縛輿觀シテ
降り吳滅フ吳ハ孫權ヨリ四世五十二年ナリ匈
奴ノ劉淵ヲ用ヒテ左部帥トス五胡華ヲ亂ルノ

禍此ニ胚胎ス帝崩ス初帝群下ニ示スニ儉素ヲ以テスト雖モ晩年遂ニ侈奢ヲ極ム後宮數千人アルニ至レリ吳ヲ平ケテヨリ以爲ラク天下無事ナリト大ニ州郡ノ武備ヲ怠ル

○惠帝

趙王倫等ノ兵之ヲ八王ノ亂ト云

惠帝名ハ衷武帝ノ子ナリ賈氏ヲ立テ后トシ政ニ預ラシム太子適后ノ生ム所ニアラサルヲ以テ后之ヲ殺ス是ニ於テ趙王倫兵ヲ發シ后及ヒ張華裴頠ヲ殺シ自ラ相國トナル既ニシテ帝ト稱シ帝ヲ金墻城ニ遷ス齊王冏成都王穎河間王顒各兵ヲ舉ケテ倫ヲ討ス倫殺サル冏入テ政ヲ

輔ク驕奢ニシテ權ヲ弄ス顒乃チ長沙王メヲシテ之ヲ殺サシム穎モ亦功ヲ恃ミテ驕恣ナリ已ニシテ顒ト俱ニ兵ヲ舉テ反ス又帝ヲ奉シテ穎ト戰ヒ克タス穎兵ヲ進メテ京師ニ入り丞相トナル已ニシテ鄴ニ還ル顒穎ヲ奉シテ皇太弟トス東海王越帝ノ命ヲ奉シテ穎ヲ征ス越敗績ス穎帝ヲ迎ヘテ鄴ニ入ル後チ顒カ將張方帝ヲ長安ニ遷ス顒穎ヲ廢シ豫章王熾ヲ立テ太弟トス越兵ヲ發シテ長安ニ入り帝ヲ奉シテ洛陽ニ還ル越政ヲ輔ク遂ニ帝ヲ毒弑ス帝昏愚ナリ趙

劉淵漢王ト稱ス

放達清談
虛無ノ學

王倫カ亂ヨリ後諸王迭ニ相ヒ殘滅シ武帝ノ子二十五人存スル者三人ノミ天下大ニ亂ル是ヨリ先キ李雄成都王ト自稱ス劉淵漢王ト自稱ス後チ帝ト稱ス淵幼ニシテ雋異ナリ博ク經史ニ通シ武事ヲ兼テ學フ淵カ子聰亦驍勇絶倫ニシテ博ク經史ニ涉ル淵カ族子劉曜膽量アリ亦好ク書ヲ讀ミ文ヲ屬ス是ニ至リテ淵カ將トナル初魏ノ時何晏等論ヲ立ツ以爲ラク天地萬物皆無ヲ以テ本トナスト帝ノ時ニ至リ王澄阮咸等任放ヲ達トナシ王衍樂廣等清談ヲ善クス而シ

○懷帝

テ虛無ノ學天下ニ盛ナリ

懷帝名ハ熾武帝ノ第二十五子ナリ瑯琊王睿建業ニ鎮ス睿王導ヲ以テ謀主トス慕容廆自ラ鮮卑大單子ト稱ス拓跋猗盧ヲ代公トス時ニ劉淵其子聰ヲ遣ハシ晉ノ内郡ヲ攻メシム既ニシテ淵卒ス子和立ツ聰之ヲ弑シテ代ル聰呼延晏ヲ遣ハシ兵ニ將トシ劉曜石勒ノ軍ト合シ洛陽ヲ攻メ帝ヲ執ヘテ平陽ニ送ル帝尋テ弑セラル是ニ於テ愍帝長安ニ即位ス

○愍帝

愍帝名ハ業吳王晏ノ子武帝ノ孫ナリ時ニ漢兵

學林言

卷之十一

金堂藏

青衣酒ヲ行ス

連リニ諸郡ヲ陷レ、長安ニ逼ル麴允索紱退テ小城ヲ守ル、内外斷絶シ、城中食乏シ、帝遂ニ出テ降ル、漢ノ將劉曜之ヲ平陽ニ送ル、漢主聰群臣ヲ享ス、帝ニ命シテ、青衣ヲ著テ酒ヲ行シ、爵ヲ洗ハシメ、又蓋ヲ執ラシム、後弒セラハ武帝ヨリ是ニ至リテ四主五十二年ナリ、時ニ瑯琊王建業ニ即位ス

東晉

○元帝

元帝名ハ睿、宣帝懿ノ曾孫、瑯琊王勣ノ子ナリ、帝ノ母牛金ニ通ス、帝實姓ハ牛、時ニ牛馬ニ繼クノ

石勒趙王トナ
ル
王敦及ス

毀アリ、長安陷ルニ及ヒテ位ニ即キ、建業ニ都ス、漢國號ヲ趙ト改ム、石勒趙王ト稱ス、是ヲ後趙トス、祖逖進テ雍邱ニ屯シ、河北ヲ取ルヲ計ル、王敦兵ヲ武昌ニ舉テ反ス、劉隗刁協ヲ誅スルヲ以テ名トス、隗協帝ニ勸メテ、盡ク王氏ヲ誅セントス、帝許サス、敦石頭城ニ據ル、隗協等之ト戦ヒ、敗ラハ、後帝憂憤シテ疾ヲ成シテ崩ス

○明帝

明帝名ハ紹、元帝ノ子ナリ、幼ニシテ聰慧ナリ、司徒王導ヲ以テ諸軍ヲ督シ、敦ヲ討セシム、而シテ帝自ラ軍ヲ帥ヒ、敦カ兄含カ軍ヲ伐チ、大ニ之ヲ

破ル尋テ敗病テ死ス、黨與悉ク平ク、帝在位僅ニ三年ニシテ崩ス、

○成帝

蘇峻又ス、

成帝名ハ衍、明帝ノ子ナリ、王導、庾亮遺詔ヲ奉シテ政ヲ輔ク、庾太后朝ニ臨ミ制ヲ稱ス、大司農蘇峻反ス、尚書令卞壺軍ヲ督シテ峻ヲ討ス、克タスシテ之ニ死ス、峻ノ兵進ミテ闕ヲ犯ス、陶侃温嶠入リテ峻ヲ討シ、遂ニ之ヲ斬ル、王導ヲ以テ丞相トス、尋テ卒ス、

○康帝

康帝名ハ嶽、成帝ノ弟ナリ、中原ヲ經略スルヲ議ス、桓宣趙ノ兵ト戦ヒ、敗績ス、帝在位二年ニシテ

○穆帝

桓温漢又ハ秦ヲ代ツ、

大秦天王、

○哀帝

崩ス、太子卽位ス、太后朝ニ臨ミ制ヲ稱ス、穆帝名ハ昞、康帝ノ太子ナリ、三歳ニシテ卽位ス、會稽王昱政ヲ輔ク、桓温、荆、梁等ノ州軍事ヲ都督シ、師ヲ帥ヒテ漢ヲ伐ツ、漢主李勢降ル、温又秦ヲ伐チ大ニ秦ノ兵ヲ藍田ニ敗ル、進ミテ霸上ニ軍ス、北海ノ王猛温ニ謁ス、温載セテ與ニ還ラント欲ス、猛就カス、秦ノ符堅其君生ヲ弑シテ大秦天王ト稱フ、生ハ健ノ子ナリ、堅既ニ立チ、政ヲ王猛ニ委ス、秦民大ニ悦ブ、桓温謝安ヲ征西司馬トス、哀帝名ハ丕、成帝ノ子ナリ、

○帝奕

帝奕名ハ奕哀帝ノ同母弟ナリ、桓温燕ヲ討ツ利
アラス、燕ノ慕容垂既ニ晋軍ヲ破リ、威名大ニ震
ス、燕王之ヲ疾ム、垂遂ニ秦ニ奔ル、秦ノ王猛燕ヲ
討ツ、秦主苻堅燕都ニ入リ、燕王暉ヲ執ヘテ歸ル、
燕亡ス、

○簡文帝

簡文帝名ハ昱、元帝ノ第六子ナリ、

○孝武帝

孝武帝名ハ曜、簡文帝ノ第三子ナリ、桓温來朝ス、
意晉祚ヲ移サント欲ス、謝安從容之ヲ鎮ス、温尋
テ卒ス、秦ノ王猛卒ス、秦大舉シテ入寇ス、堅衆ニ
謂テ曰ク、吾鞭ヲ投シテ江ヲ斷ツヘシト、謝石謝

西北ノ地大ニ
亂ル

玄都督トナリ、秦兵ト淝水ニ戰フテ、大ニ之ヲ破
ル、堅狼狽シテ、長安ニ還ル、慕容垂秦ニ叛キ、自ラ
燕王ト稱ス、姚長亦秦ニ叛キ、自ラ秦王ト稱ス、是
ヲ後秦ト曰フ、慕容冲秦ニ叛キ、兵ヲ平陽ニ起シ
帝ト稱ス、是ヲ西燕トス、長安ヲ攻ム、秦主苻堅出
奔ス、後秦主苻萇執ヘテ之ヲ殺ス、堅ノ子丕帝ヲ晋
陽ニ稱ス、時ニ代王拓跋珪國ヲ魏ト改稱シ、終ニ
帝ト稱ス、

拓跋珪

○安帝
桓玄反ス

安帝名ハ德宗、武帝ノ長子ナリ、桓玄反シ、帝ヲ廢
シテ、尋陽ニ遷ス、劉裕兵ヲ起シテ玄ヲ討シ、帝復

學林言海史部

卷之一

金堂藏版

位ス劉裕大ニ秦ノ兵ヲ破リ遂ニ長安ニ入ル秦
主泓出テ降ル之ヲ斬ル帝後劉裕ノ弑スル所ト
ナル

○恭帝

南北朝

恭帝名ハ德文安帝ノ弟ナリ劉裕帝ヲ廢シテ零
陵王トス時ニ魏最モ強盛ニシテ諸州悉ク其兼
併スル所トナレリ後遂ニ宋ト天下ヲ兩分ス之
ヲ南北朝ト稱ス東晉ハ元帝ヨリ是ニ至リテ十
一主二百四年ナリ○兩晉通シテ一百五十六年

小標註漢史提要卷之一終

明治十五年十二月廿七日版權免許
同 十六年三月二十四日刻成出版

定價 希元

編輯人

神奈川縣平民

伊東希元

相模國淘綾郡大磯驛
第百拾番地

出版人

同 今井政兵衛

相模國大住郡平塚驛
第二百九拾四番地

小標註漢史提要

卷之一

金堂藏版

販賣列品并藏版表

吳服太物類

小學標註漢史提要 全三冊

御婚禮道具

同 字 引 全三冊

疊表品々

小學讀本字引 自一全一冊 至三全一冊

紙蠟燭類

卷菱潭先生書 小學習字本 全七冊

筆墨硯類

同 正續消息往來行草 四冊

和漢書籍類

右之品々直段精々廉價ヲ主トシ物品現金仕入薄利賣捌

申候間御注文ノ節ハ金圓御添被下度伏テ奉懇願候也

寸金堂稻元屋商店